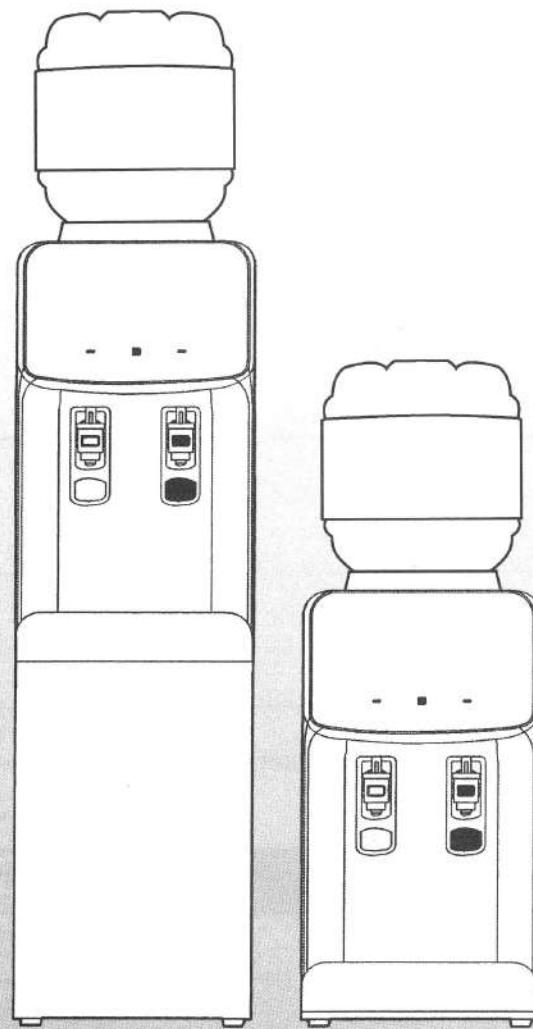


ウォーターサーバー取扱説明書

型番：WFD-1700

お問い合わせ窓口のご案内



もくじ

ページ

- 安全上の注意／
ご使用にあたって 1～2
- 設置場所／仕様 3
- 各部のなまえ・はたらき 4
- 初期設置の手順 5～6
- ウォーターボトル交換方法 7
- おいしく飲んで
いただくために 8
- 故障かな？と思ったら／
長期間使用しないとき 9

この「取扱説明書」は
設置前(電源を入れる前)に
必ずお読みください。

※電源プラグは各コックから水が
出てからコンセントへ差し込んで
ください。

1. この「取扱説明書」は、設置前に必ずお読みください

MEMO

設置前によくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

2. 安全上の注意(必ずお守りください)

■安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。また、本文中の注意事項についてもお読みの上、正しくお使いください。

〈記号と意味〉

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると「人が障害を負う可能性が想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

〈図記号表示の説明〉

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 禁止	してはいけない「禁止」内容です。
 強制	必ずしなければならない「強制」内容です。

本機は日本国内用に設計されています。規格の異なる海外では使用できません。

This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.

3-1. ご使用にあたって



■設置するときは

- 水かかる所に設置しない
絶縁が悪くなり、感電・火災の原因となります。
- 床が丈夫で水平なところへ設置する
不安定な場所は、ウォーターサーバーが倒れる原因となります。
- ボトルをウォーターサーバーにセットしている状態で、ボトルを切開(カット)しない
衛生面に悪影響を及ぼしたり、ウォーターサーバー故障や水漏れの原因になります。
- 湿気の多い場所・水気のある場所で使うときはアース(接地)・漏電遮断機を取り付ける
お近くの電気工事店へご相談ください。



10. 故障かな?と思ったら

修理を依頼する前に次のことを確認してください。

現象	確認	対策
COLDランプが点灯しない	●電源プラグが確実に接続されていますか?	●電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
HOTランプが点灯しない	●HOTスイッチがOFFになっていませんか?	●HOTスイッチをONにしてください。
水が冷えない	●本体がストーブやガス機器、又は直射日光があたる暑い場所に設置されていませんか? ●本体が壁面に近づきすぎていませんか?	●涼しい場所に移動してください。 ●本体を壁面より15cm以上離してください。
お湯が熱くならない	●HOTスイッチがOFFになっていませんか? ●初回、ウォーターボトル設置前にHOTスイッチをONにしませんでしたか? (空焚き防止機能が働いている可能性があります)	●HOTスイッチをONにしてください。 ●お客様サポートセンターにお電話ください。
通常使用中に異音が発生する	●平らな場所に設置されていますか? ●本体と接触している物がありませんか?	●安定した平らな場所に移動してください。 ●接触している物を取り除いてください。
初回設置時に煙が出てきた	●初回、ウォーターボトル設置前にHOTスイッチをONにしませんでしたか? (空焚きしている可能性があります)	●空焚き防止機能が働いている可能性があるためお客様サポートセンターにお電話ください。
水とお湯の出が悪い (もしくは出ない)	●ウォーターボトルは空になっていますか? ●ボトルからの給水が少なくなっていますか?	●新しいウォーターボトルに交換してください。

■上記「故障かな?と思ったら」をよくお読みいただき、再確認願います。その上でなお不具合がある場合は、当社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

11. 長期間（2週間以上）使用しないとき

1. HOTスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、2時間ほど放置してください。
(温水の温度が下がるのを待ちます)
2. 冷水レバーを押してコックからタンク内の水を排水します。
3. 製品背面にある排水キャップを外し温水を排水します。水が出なくなったら排水キャップを取り付けます。
4. ウォーターボトルを取り外します。
5. 製品各部に残っている水気を完全に拭き取ってください。
(水気が残っていると悪臭やサビの原因になります)
6. サビやほこりなどで故障するおそれがありますので、ボトルカバーを取り付けておいてください。
7. 再使用する時は、「初期設置の手順」(→P.5~P.6)に従ってウォーターボトルを設置してください。

3-1. ご使用にあたって

■電源のプラグやコードは

- 傷つけない・束ねない
感電・漏電・火災を防止するためです。
- 定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使う
火災防止のためです。
- たこ足配線はしない
火災防止のためです。
- 背面の清掃を行う場合、電源プラグをコンセントから抜く
感電防止のためです。
- 定期的にプラグに付いたほこりを乾いた布でふき取る
火災防止のためです。
- ぬれた手でプラグを抜き差しはしない
感電防止のためです。
- 電源コードが傷んでいた場合は使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。



■お使いのときは

- 温水は高温のため火傷に注意する
お子様が温水コック・レバーに触らないように注意してください。
●コックレバーを手前に引いたり持ち上げない、手順以外の使用はしない
高温の温水が漏れ、火傷・故障の恐れがあります。
- ガラスコップにお湯を注がない
高温によりガラスコップが破損し、火傷・けがの恐れがあります。
- ガラスコップでコックのレバーを押さない
ガラスコップの破損で火傷・けがの恐れがあります。
- ウォーターサーバー背面の放熱板に触らない
高温により火傷の恐れがあります。
- 水のボトルを持ち上げる際にはボトル底部のテープ中央を持ち、ボトルネックに手を添える
テープがはがれ落下し、けがをする恐れがあります。
- 分解・改造・修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理はお客様サービスセンターまで御連絡ください。
- ボトルがセットされていない状態でコックから出水しない
タンク内の水がなくなり空焚き、出水不良の原因になります。空気とともに雑菌がタンク内に取り込まれ、不衛生な状態となる可能性があります。



3-2. ご使用にあたって

■ご使用にあたって

- ウォーターサーバーが届いても1時間は電源を入れない
冷蔵庫と同じで冷却触媒を安定させる為の時間です。
- ウォーターサーバー背面と壁の間は15cm以上離して設置する
熱がこもり機器の機能が低下する恐れがあります。また静電気により壁・カーテンが黒く汚れる恐れがあります。
- 冷・温水コックのレバー部分を持って移動させない
破損したり、けがをする恐れがあります。
- ウォーターサーバーは室内で使用する
直射日光や雨が当たらない場所に設置してください。機能の低下・漏電の原因になります。
- ストーブなどの熱源の近くに設置しない
機器の変形・機能低下の原因になります。
- 初回は冷水・温水タンクに満水に給水するまで電源プラグを差さない
水漏れ・故障の原因になります。
- 当社より配達されるボトルのみを使用する
他社ボトルを使用の場合、故障や水漏れの原因となります。
- ボトルの落下等の衝撃により破損・破裂する恐れ
水漏れの原因となります。
- ウォーターサーバーの上に物を乗せない、まわりに水に弱い物を置かない(電子機器・時計・革製品・書籍等)
本体転倒の恐れがあります。または、まわりに置いた物が故障・破損する恐れがあります。
- 使用中は必ず給水する
温水タンクに水が入っていない場合、空焚きの状態となり故障の恐れがあります。



この電気器具は家庭用に設計されています。またオフィス等でも使用できます。

4. 設置場所について

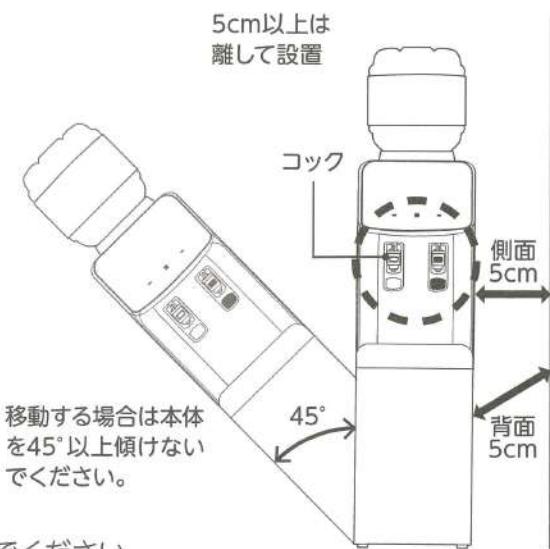
1 排水キャップの確認

輸送中に背面の排水キャップがゆるむことがあります。しっかりと締まっているかご確認ください。
※ゆるんでいると水漏れの原因になります。



2 設置場所

- ①放熱パネルが高温になるため壁や家具から背面および左右側面を、5cm以上離して設置してください。
- ②必ず安定した平らな場所に設置してください。
- ③寝室など音が気になる場所に設置しないでください。
- ④直射日光のある場所、ヒーターやストーブなどの高温になる場所、湿度の高い場所や水のかかる場所、ほこりの多い場所では使用しないでください。
- ⑤室内用ですので、室外には設置しないでください。



3 移動の仕方

- ①移動する場合は本体を45°以上傾けないでください。
- ②ウォーターボトルが外れたり、冷水・温水が出る恐れがありますので移動の際にウォーターボトルやコックを持たないでください。

5. 仕様

型式	WFD-1700(ロングタイプ・床置型)	WFD-1700S(ショートタイプ・卓上型)
寸法(mm)	340(縦)×300(横)×1025(高さ)	340(縦)×300(横)×580(高さ)
重さ	19kg	16kg
コンプレッサ	1/10HP 密閉型	
モータ消費電力	90W	
冷媒	R-134a(28g)	
冷水タンク	SUS 304(ステンレス) / 3リットル	
冷水温度調節	サーモスタット方式	
温水ヒータ消費電力	430W	
温水タンク	SUS 304(ステンレス) / 2リットル	
温水ヒータ	バンドヒータ方式	
温水温度調節	バイメタル方式	
供給電圧	AC100V / 50~60Hz	
フロントパネル	ABS樹脂製	
サイドパネル	電気亜鉛メッキ鋼板	
温度範囲	冷水 3.5~8.0°C / 温水 80~90°C / 節電モード中温水 20~30°C	

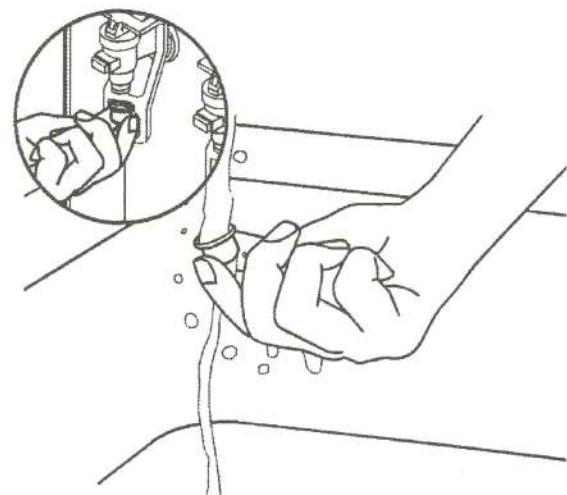
9. おいしく飲んでいただくために

※開封後は、14日間を目安に飲みきってください。

日常のお手入れの仕方

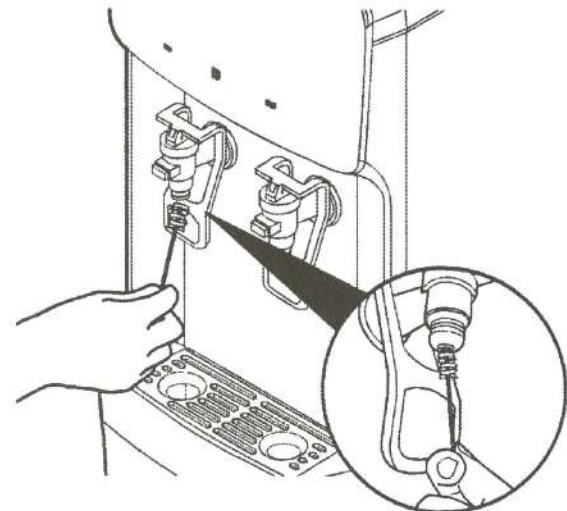
クリーンキャップ

クリーンキャップを左に回して取外し、水洗いしてください。



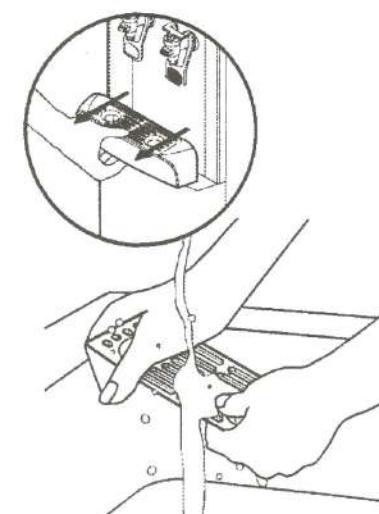
インナーノズル

ブラシや綿棒をノズルに差しこみ、よごれを取り除いてください。



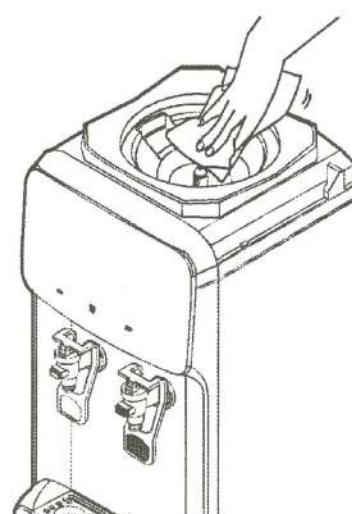
ドリップトレイ

中性洗剤で汚れを落とした後、よくすすぎ、乾いた布で拭いてください。ドリップトレイは手前に引くと取り外せます。



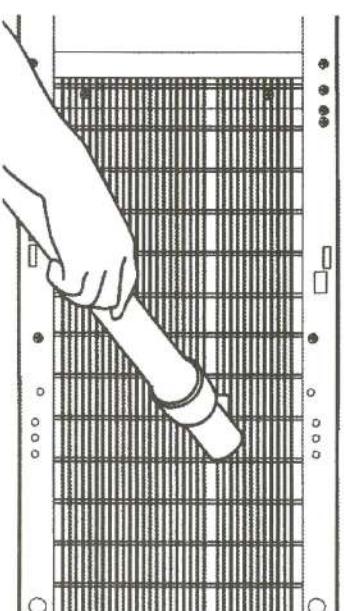
受水棒周辺

ウォーターボトル交換時に市販のアルコール系衛生剤などで清掃してください。
※溜り水はキッチンペーパーなどで必ず拭き取ってください。



背面放熱部

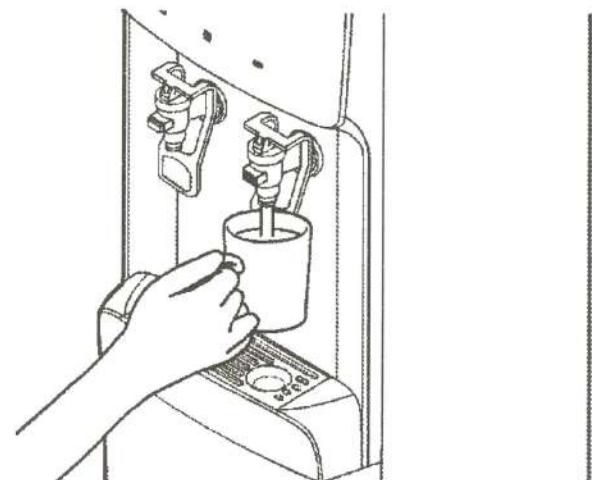
掃除機や布で底部や放熱部に付着した、ちりやホコリを取り除いてください。



8. ウォーターボトル交換方法

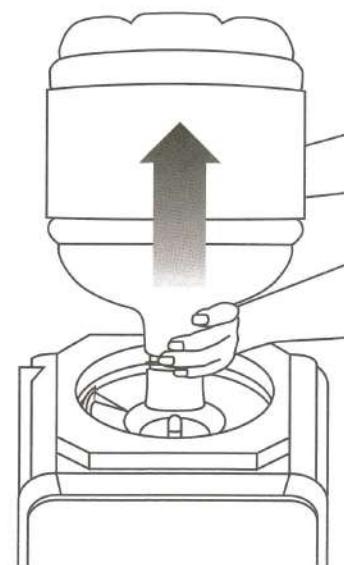
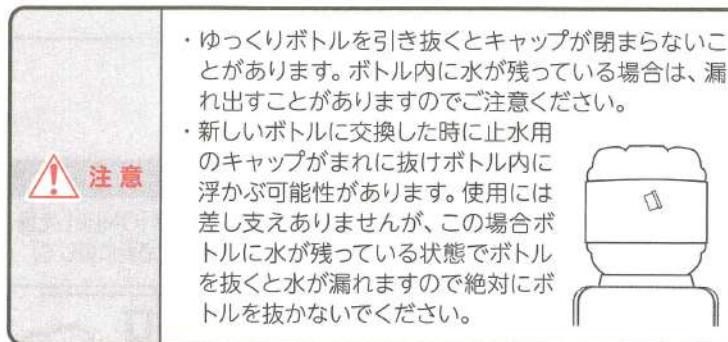
1 ウォーターボトルの水がなくなるまで水を出し切る

※水が残っていると、ウォーターボトルを取り外した際にこぼれる可能性があります。



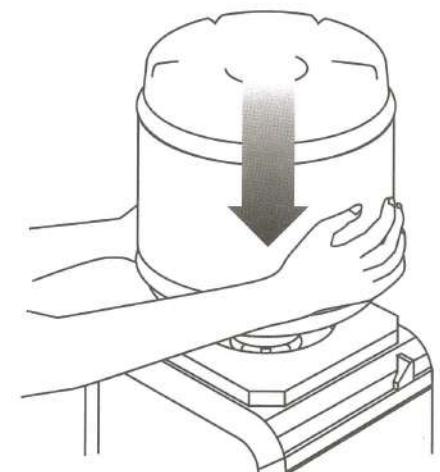
2 ウォーターボトルを取り外す

ウォーターボトルを真上に引き上げて外します。止水用キャップがウォーターボトルを引き抜くことにより自動的に閉まりますので、ウォーターボトル内の水が残っていても水は漏れません。



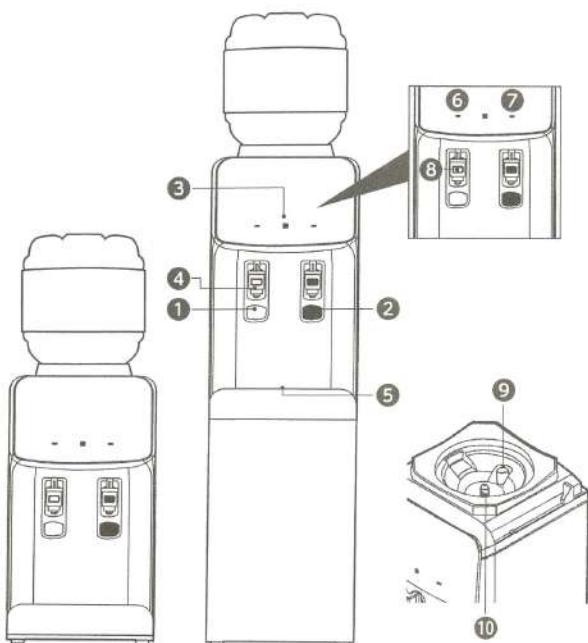
3 新しいウォーターボトルをセットする

※「初期設置の手順2~4」と同様

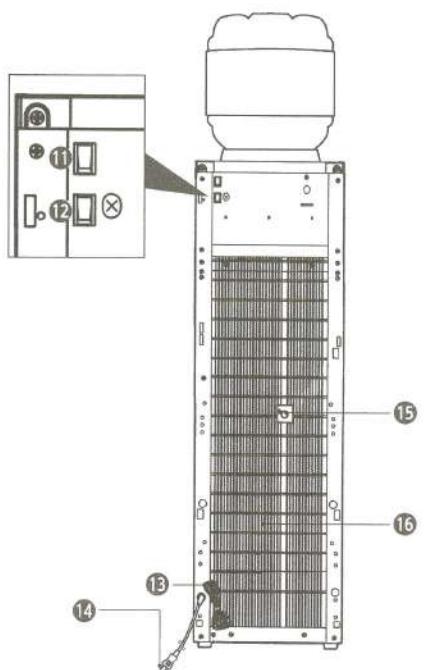


6. 各部のなまえ・はたらき

ウォーターサーバー正面



ウォーターサーバー背面



ウォーターボトル



① 湯水レバー
ロックを解除し、レバーを押すと湯水が出てきます。

② 冷水レバー
レバーを押すと冷水が出てきます。

③ 光センサー
室内の明るさによってヒーターが停止します。ヒーターは暗くなるとOFFになります。明るくなるとONになります。

④ クリーンキャップ
取水口の衛生を守ります。(定期的に取り外してお手入れしてください)
(▶P.8)

⑤ ドリップトレイ
漏れた水を受けます。手前に引くと取り外しができます。(定期的にお手入れください)
(▶P.8)

⑥ HOTランプ
背面のHOTスイッチを「ON」にすると赤色に点灯します。

⑦ COLDランプ
電源プラグをコンセントに差し込むと緑色に点灯します。

⑧ ロック解除ボタン
ボタンを押しながら給水レバーを押すと湯水が出てきます。

⑨ エアキャップ
中にフィルターが装着されていて、冷水タンクにエアを送ります。

⑩ 受水棒
ウォーターボトルと接続し、タンクに水を送ります。

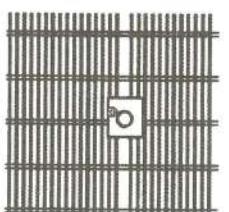
⑪ HOTスイッチ
電源プラグをコンセントに差し込んだ後、スイッチを「ON」にします。

⑫ ECOスイッチ
部屋の明るさに合わせて光センサーが感知し、夜間は自動的に節電モードになります。HOTスイッチを「ON」にし、さらにECOスイッチを「ON」にするとHOTランプがオレンジ色に点灯します。節電モード時は緑色に点灯します。

⑬ アース
故障や漏電のとき感電を防止します。

⑭ 電源プラグ
コンセントに差し込むと、冷却機能が作動します。

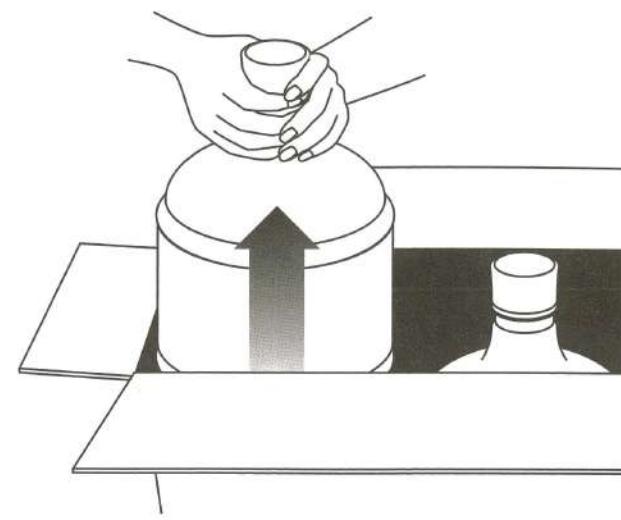
⑮ 排水キャップ(黄色)
湯水タンクの排水口です。
※長期間(2週間)使用しないときのみに使用します。



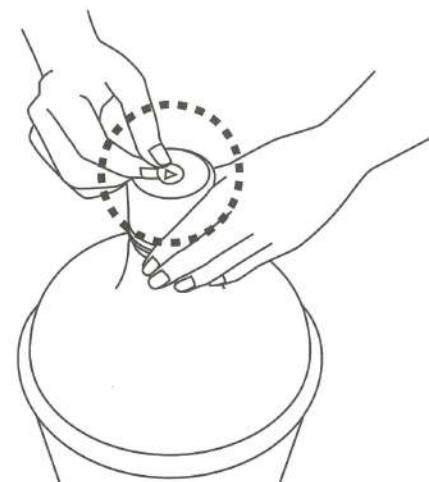
⑯ 放熱パネル
冷却運転中は熱くなりますが、故障ではありません。手や物が触れないよう注意してください。

7. 初期設置の手順

- 1 箱からウォーターボトルを取り出します

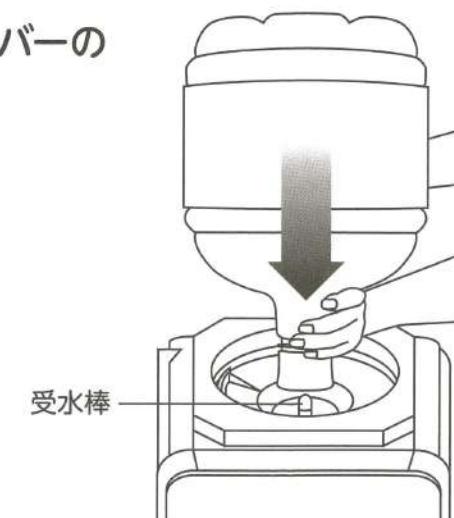


- 2 ウォーターボトルキャップのプルトップを外します



注意 キャップは絶対に外さないでください。

- 3 ウォーターボトルをウォーターサーバーのボトル差込口(受水棒)に合わせ垂直にセットします



- 4 出水確認を行う

重要

温水コックからカップ1杯ほどの水を出す。

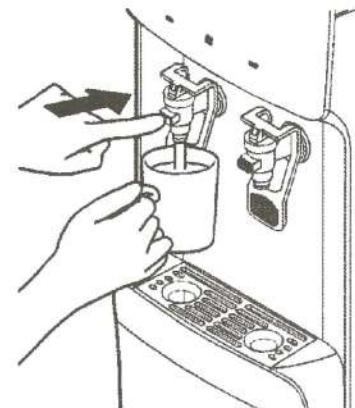
その後、冷水コックからもカップ1杯ほどの水を出す。(出した水は捨ててください)

※温水コックから水が出るまで十数秒かかります。

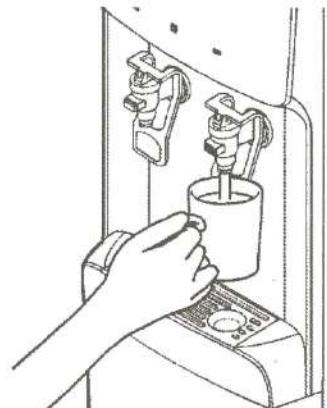


厳守

電源を接続する前に、冷水コックと温水コックから水が出ることを必ず確認してください。



ロック解除ボタンを押しながら温水レバーを押込むと水が出てきます。

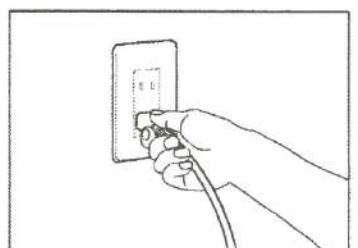


冷水レバーを押込むと水が出てきます。

- 5 作動を開始させる

冷水

電源プラグをコンセントに差し込む



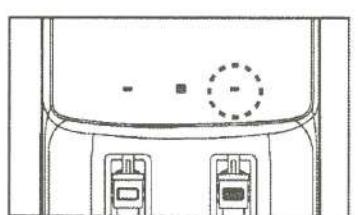
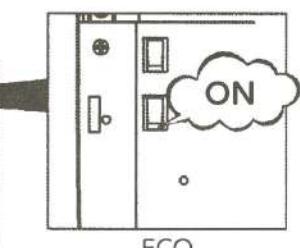
温水

背面のHOTスイッチを「ON」にする

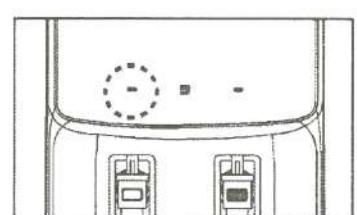


ECOモード

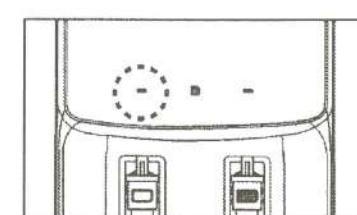
背面のHOTスイッチを「ON」にした後
ECOスイッチを押す(必要に応じて)



COLDランプが緑色に点灯



HOTランプが赤色に点灯



HOTランプがオレンジ色に点灯

約45分で適温になります。